

8 「^{うま}美し国おこし・三重」の取組について

1 平成 23 年度の取組について

(1) 地域での^{うま}美し国おこし

① 「座談会」等の開催状況

「地域づくりに取り組んでいる」または「これから始めようとする」住民の皆さんを対象に、地域の課題や将来の展望を語る場である座談会や説明会等を市町と調整のうえ、平成 23 年 4 月から平成 24 年 2 月までに 530 回、取組の開始以降 1,754 回開催しました。

② パートナーグループ登録の状況

「^{うま}美し国おこし・三重」の取組の趣旨に沿って、自発的に地域をよりよくしていこうとする活動を行うパートナーグループに、平成 23 年 4 月から平成 24 年 2 月までに 71 グループ、取組の開始以降 334 グループに登録していただきました。

③ サポートメニュー

○ 人材育成研修

今年度は、ファシリテーション研修、広報・情報発信研修をそれぞれ県内 3 地域で、マネジメント研修を 2 地域で実施し、あわせて延べ 124 人の皆さんに受講いただきました。取組の開始以降、人材育成研修を延べ 309 人の皆さんに受講いただきました。

○ 専門家派遣

一次製品の直売所の経営や地域資源を活用した商品開発など、パートナーグループの取組を活性化するために、今年度は平成 24 年 2 月までに、18 件（延べ 43 回（日））の専門家の派遣を行いました。

○ 財政的支援

パートナーグループによる地域づくりを進めるため、必要な初期投資に係る費用を対象に、今年度はこれまでに 6 件、市町と合わせて約 451 万円（うち実行委員会負担約 240 万円）を支援しました。

- ・「ひとのわコンサート」実行委員会（亀山市）
「デジタルピアノや発電機の購入」
- ・喜心（松阪市）
「加工所の改修整備と真空パック機の購入」
- ・参宮ブランド『擬革紙』の会（玉城町）
「試作品を作成するための機具の購入」
- ・ぽっかぽかの会（亀山市）
「冷凍冷蔵庫や電子式シーラーの購入」
- ・白山道しるべの会（津市）
「ホームページの開設やハンドマイク等の購入」
- ・NPO 法人 ふるさと企画舎（紀北町）
「くき漬け生産のための真空包装器等の購入」

④ 拡大座談会

平成 23 年度は、平成 24 年 2 月までに 16 回開催し、延べ 936 人に参加いただきました。(別紙 1 参照)

(2) テーマに基づき全県的に取り組む^{うま}美し国おこし

① 平成 22、23 年度

「人と自然の“絆”づくり」を理念に、「海の命・森の命」をテーマとして、三重県全域に広がる自然の恵みを生かしながら、豊かな暮らしづくりをめざすテーマプロジェクトを展開しました。

今年度は、社会貢献活動に気軽で楽しいレジャー活動を組み合わせた「ソーシャルレジャー」や、社会貢献活動をとおして自身の課題を乗り越える力を高める「チャレンジキャンプ」などに取り組みました。(別紙 2 参照)

② 平成 23、24 年度

「人と地域の“絆”づくり」を理念に、「地域の誇り・地域の夢」をテーマとして、歴史・文化をとおして人々と地域のつながりを深め、地域の誇りを見つめ直し、豊かな地域社会づくりをめざすテーマプロジェクトを展開しています。

今年度は、地域にまつわる歴史や逸話・謂われ等の「物語」を切り口に地域資源の付加価値を高める「物語おこしプロジェクト」として 5 つの事業を実施しました。(別紙 3 参照)

③ 平成 24、25 年度

平成 24 年度からの 2 年間は、「人と人の“絆”づくり」を理念に、「つむぐ想い・つながる心」をテーマに、「通い合い・思いやり」、「守り合い・備え合い」、「育ち合い・学び合い」をキーワードとして、絆づくりの場や機会を作ることで、一人ひとりが絆を紡ぎあげ、誰もがお互いに支えあい、助け合える環境づくりをめざすテーマプロジェクトを展開していきます。

(3) 「^{うま}美し国おこし・三重」成果発表・交流会の開催

パートナーグループの皆さんをはじめ、広く県民の皆さんに参加を呼びかけ、これまでの「^{うま}美し国おこし・三重」の取組やパートナーグループの活動の成果を発表し、相互の交流連携を促進するとともに、県内外へ情報発信するため、『^{うま}美し国おこし・三重』“ヒト・モノ・コト”発見・体感フェスタ」を次のとおり開催しました。

開催日：平成 24 年 3 月 3 日（土）

場 所：メッセウイング・みえ（津市）

内 容：①「^{うま}美し国おこし・三重」の活動報告、②三重のキャラクターショー、③宮川フォーラム 2012（同時開催）、④小椋久美子トークショー、⑤トークセッション～食をテーマに語り合う～、⑥交流会

2 「^{うま}美し国おこし・三重」評価委員会(2月27日開催)での主な意見

平成24年2月27日(月)に、今年度3回目の「^{うま}美し国おこし・三重」評価委員会を開催しました。委員からの主な意見は、別紙4のとおりです。

3 「^{うま}美し国おこし・三重」平成24年度実施計画(案)の概要

基本計画の変更と併せて、「^{うま}美し国おこし・三重」平成24年度の実施計画を策定しているところですが、その概要は、別紙5のとおりです。

4 県民力拡大プロジェクトの基本的な考え方

平成26年に実施する予定の県民力拡大プロジェクトにつきましては、実施計画の策定を進めているところですが、その基本的な考え方は、別紙6のとおりです。

拡大座談会開催実績と今後の予定

平成24年2月29日現在

名称	内容	実施日	場所	参加者数	備考
1 銚子川流域拡大座談会 (銚子川を日本一の川にしたい!~きいて、みて、みんなで考えよう~)	・講演「自然環境豊かな水辺づくり」 ・銚子川現地研修 ・座談会	4月22日 (金)	紀北町立海山公民館	67	NPO法人ふるさと企画会と共同開催
2 平成23年度第1回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!)	・講演「いのちの授業」 ・ワークショップ	4月24日 (日)	木曾岬町役場	43	
3 平成23年度第2回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!VOL.2)	・映画「幸せの経済学」 ・ワークショップ	5月22日 (日)	桑名市長島ふれあい学習館(ながしま遊館)	40	
4 四日市地域拡大座談会 (四日市絆づくり交流会)	・地域活動PR交流会 ・ワークショップ ・発表会	5月29日 (日)	三重県四日市庁舎	58	
5 平成23年度第3回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!VOL.3)	・講演「『分かち合い』について」 ・ワールドカフェ	6月17日 (金)	いなべ市北勢市民会館さくらホール	39	
6 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」拡大座談会 in 朝日 (支え合う地域づくり)	・講演「ご近所付き合いの輪~みんなで創る安心社会」 ・ワールドカフェ	6月25日 (土)	朝日町保健福祉センター	57	朝日町、朝日町社会福祉協議会と共同開催
7 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」拡大座談会 (連続講座「地域力創造と地域おこしのヒント」の二日目に開催)	・講演「『美し国おこし・三重』の取組」 ・ワールドカフェ	8月6日 (土)	三重県勤労者福祉会館	71	総務省・三重県主催
8 平成23年度第4回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!VOL.4)	・講演「笑顔の連鎖~笑いから始まるつながりの輪~」 ・活動紹介「ハイタッチ隊」 ・ワールドカフェ	8月27日 (土)	東員町保健福祉センター	86	とういんボランティア市民活動支援センターと共同開催
9 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」拡大座談会 (これからの移動送迎を考えるつどい)	・講演「交通に関する法律などの仕組みとその経営」 ・現状報告 ・分科会	9月11日 (日)	三重県伊賀庁舎	66	いが移動送迎連絡会と共同開催
10 食と農でつながる拡大座談会 in 鈴鹿	・講演「科学・技術と人材育成により地域を活性化する」 ・活動発表 ・ワールドカフェ	9月17日 (土)	三重県鈴鹿庁舎	53	
11 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」尾鷲市・紀北町拡大座談会 紀北会場 (地域資源交流会)	・活動発表 ・ワークショップ ・ワイワイ交流会	10月4日 (火)	ゆうがく邸	31	
12 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」尾鷲市・紀北町拡大座談会 尾鷲会場 (地域資源交流会)	・活動発表 ・ワークショップ ・ワイワイ交流会	10月12日 (水)	天満荘	39	
13 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」パートナーグループ交流会 ^{うま} 美しCafe in四日市 女子会編	・交流会	12月8日 (木)	ワンデイシェフの店にじいろ堂	23	コミュ・ラボと共同開催
14 平成23年度第5回桑員地域拡大座談会 (くわなの手づくり体験)	・マーケット ・エクスチェンジ ・音楽会 ・出前授業 ・座談会 ・体験等	12月24日 (土)	桑名メディアライヴ	200	桑名ハンドメイドの会と共同主催
15 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」パートナーグループ交流会 ^{うま} 美しCafe in四日市 ランチ会編	・交流会	2月3日 (金)	ワンデイシェフの店にじいろ堂	20	コミュ・ラボと共同開催
16 「 ^{うま} 美し国おこし・三重」川越町拡大座談会 (かわごえがおプロジェクト)	・エクスチェンジ ・講演「シェア(分かち合い)から生まれるつながりづくり」 ・交流会	2月23日 (木)	川越町いきいきセンター	43	川越町社会福祉協議会、川越町と共同開催
17 平成23年度第6回桑員地域拡大座談会	・ドラマ・サークル ・みなともカフェ ・エクスチェンジ	3月4日 (日)	ながしま遊館	-	
18 地域づくり交流会・いが	・講演 ・活動紹介 ・交流会	3月18日 (日)	青山ハーモニー・フォレスト	-	
19 熊野地域拡大座談会(紀宝町) (災害に備えて私たち住民自ら地域でやるべきことは)	・セミナー ・座談会	3月18日 (日)	紀宝町福祉センター	-	東紀州(紀南)防災ネットワーク推進会議と共同開催
20 熊野地域拡大座談会(御浜町) (高齢者や障がいがある方(災害時要援護者)を地域でどう守っていくか)	・セミナー ・座談会	3月18日 (日)	御浜町福祉健康センター	-	東紀州(紀南)防災ネットワーク推進会議と共同開催
21 平成23年度「 ^{うま} 美し国おこし・三重」鈴鹿「歴史文化・物語(ヤマトタケル)」をテーマにした拡大座談会(仮)	・セミナー ・活動紹介 ・座談会	3月20日 (祝)	亀山市総合保健福祉センター(あいあい)	-	
22 熊野地域拡大座談会(熊野市) (高齢者や障がいがある方(災害時要援護者)を地域でどう守っていくか)	・セミナー ・座談会	3月25日 (日)	三重県熊野庁舎	-	東紀州(紀南)防災ネットワーク推進会議と共同開催

◆ソーシャルレジャーで三重の自然を守ろうプロジェクト(個別プロジェクト一覧)

別紙2

自然環境の保全・再生に関する社会貢献活動に、誰もが楽しめるレジャー活動を組み合わせた、ボランティアの新しい形である「ソーシャルレジャー」について、A、B、Cの3つのタイプに分け、パートナーグループと共催で実施しました。

種類	NO	事業 エリア	団体名 (PG:パートナーグループ)	実施市町	企画概要(「事業名」)	実施時期
Aタイプ ※参加者は100人以上 ※情報発信力を有すること ※市町域を越えて広域的に連携して実施する事業 ※ソーシャルレジャーのモデルとなる事業	①	森・里	天然食材を楽しむ会 【代表PG】 天然食材農園二十一世紀 【関連団体】 三重を元気にしよう会(PG)	松阪市 志摩市	「天然食材を楽しむ会」 耕作放棄地を開墾して、自然農法や有機農法で作物をつくる2団体が連携し、『耕作放棄地の草刈り』と『地元食材による料理』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 ・ 9/18 草刈り&こんにやく祭りin嬉野「結いの市」(松阪市) (参加)80人 (参加費)1,000円 ・ 12/ 4 志摩自然合宿(志摩市) (参加)15人 (参加費)1,000円	9月18日(日) 12月4日(日)
	②	川	三重ホテルネットワーク準備事務局 【代表PG】 豊田ホテルを育てよう会 【関連団体】 祝詞川ホテル愛好会(PG)	川越町 大紀町 熊野市	「ホテルの川づくりプロジェクト」 ホテルが生息する川づくりに取り組む県内の複数のグループが連携し、『清掃活動』と『地元食材による料理』などを組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 ・ 10/ 8 ホテルの仲間大集合!!(川越町) (参加)地元子ども会など80人 (参加費)無料 ・ 1/22 熊野宮川・大泊海岸の景観復興支援と エアープランツ飾りづくり(熊野市) (参加)13人(参加費)1,500円	10月8日(土) 1月22日(日)
	③	海	海づくり会議みえ 【代表PG】 四日市ウミガメ保存会 【関連団体】 にじいろ堂(PG)、UMI-RYU(PG)、 海っ子の森サークル(PG) ほか	川越町 四日市市 鈴鹿市 松阪市	「海フェスと海を守る市民みんなのプロジェクト」 県内外の海の環境保全団体が連携し、『清掃活動』と『生物観察会、水産物の料理』などを組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 ・ 8/20 第2回みえの海のフェスティバル(四日市市) (参加)150人 (参加費)無料 ・ 9/18 海岸の清掃活動&自然観察会(松阪市高須海岸) (参加)20人 (参加費)無料 ・ 10/16 清掃活動&浜焼きパンづくり(鈴鹿市鼓ヶ浦海岸) (参加)80人 (参加費)無料 ・ 11/27 清掃活動&バードウォッチング(川越町高松干潟) (参加)40人 (参加費)無料 ・ 1/ 1 日の出を見ながら清掃活動(四日市市吉崎海岸) (参加)150人 (参加費)無料	8月20日(土) 9月18日(日) 10月16日(日) 11月27日(日) 1月1日(日)
	④	熊野古道	日本風景街道「伊勢熊野みち」推進 協議会と古道保全グループ 【代表PG】 交流空間みやま 【関連団体】 熊野川体感塾(PG)、膳 ほか	大紀町 紀北町 尾鷲市 熊野市 紀宝町	「世界遺産熊野古道『伊勢路』の美化活動」 平成16年7月に世界遺産登録された熊野古道「伊勢路」を軸として、『清掃活動、植樹などの景観保全』と『川舟体験や地元食材の料理』などを組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 ・ 8/28 ごんべえ桜(河津桜)下草刈り(紀北町) (参加)20人 (参加費)無料 ・ 10/23 マコモ収穫祭(大紀町) (参加)20人 (参加費)1,000円 ・ 11/20 松本峠沿いのビオトープ清掃(熊野市) (参加)20人 (参加費)1,500円 ・ 12/ 4 ごんべえ桜(河津桜)植樹(紀北町、尾鷲市) (参加)100人(うちイオンリテール(株)からの参加者61人) (参加費)1,500円 ・ 12/10 世界遺産熊野川の被災地復興支援と 三反帆(川舟)乗船体験(紀宝町) (参加)30人 (参加費)4,500円 ・ 1/21 あじさいの維持活動(紀北町) (参加)80人 (参加費)無料	8月28日(日) 10月23日(日) 11月20日(日) 12月4日(日) 12月10日(土) 1月21日(土)

種類	NO	事業 エリア	団体名 (PG:パートナーグループ)	実施市町	企画概要(「事業名」)	実施(予定) 時期
Bタイプ ※ソーシャルレジャー のモデルとなる事業 もしくは、可能性があ る事業	①	森・里	特定非営利活動法人 地域お助けネット	東員町	「町内の清掃活動・地域住民相互の助け合い事業」 東員町のグリーン作戦委員会等と連携し、『地域の清掃活動』と『子どもたちへのお楽しみ提供』とを組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)地元小学生ほか280人 (参加費)無料	8月21日(日)
	②	森・里	「竹の都・明和」農業生産研究会	明和町	「タケカフェ『竹の都』ごみゼロ収穫祭&リサイクルバザー」 『生ゴミ、間伐竹などを堆肥としてリサイクルする活動』と『こんにやくいもの収穫、こんにやくづくり』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)町内外の一般参加者ほか 150人 (参加費)500円	10月8日(土)
	③ 中止	森・里	特定非営利活動法人 TEAM笑美S	志摩市	「海女のおやつ『きんこ』作り応援隊」 里山維持に対する意識と「きんこ」という地域の食文化の周知をめざし、『高齢者農家の収穫の手伝い』と『里山体験、焼き芋試食』を組み合わせたソーシャルレジャー → 諸事情により中止となりました。	中止
	④	森・里	牛草山を守る会	度会町	「牛草山へのリフレッシュ登山」 牛草山を道中散策しながら、『清掃などの景観保全活動』と『地元食材の提供、森林浴による心身の健康増進』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)一般の登山愛好者ほか 40人 (参加費)700円	10月29日(土)
	⑤	川	NPO法人 ふるさと企画舎	紀北町	「銚子川を日本一の川に！(銚子川清掃作業と遊休地開墾)」 『銚子川の清掃活動や銚子川沿いの遊休地の開墾』と『地域の食材を使った昼食』 を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 ・ 9/18 銚子川清掃&アウトドア用品フリーマーケット (参加)50人 (参加費)無料 ・ 10/23 ごんべえ畑の開墾作業 (参加)25人 (参加費)500円 ・ 11/27 サインクリーンアップ「看板や標識を磨こう！」 (参加)20人 (参加費)無料	9月18日(日) 10月23日(日) 11月27日(日)
	⑥	森・里	ごたーげさん	木曾岬町	「木曾岬どろんこサッカー大会」 日頃、土とふれあう機会が少ない若者をターゲットに、『農地等の環境整備』と『どろんこサッカー、地元食材の昼食』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)町内外のサッカー愛好者ほか 30人 (参加費)1チーム5,000円	10月30日(日)
	⑦	森・里	桑竹会	桑名市	「第2回 桑西・竹の十三夜」 放置竹林の少ない綺麗な桑名をめざし、『桑名西高校近隣の竹やぶ整備、通学路の清掃』と『竹灯籠づくり、竹林での演奏会』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)桑名西高校の生徒、地元音楽グループほか 300人 (参加費)無料	10月15日(土) ~10月30日(日) メイン:10月26日(水)
	⑧	森・里	三重西里山を愛する会 しろやま倶楽部	四日市市	「地元小学生との地域の里山整備・保全」 地元の小学校と連携し、『地域の里山における竹の伐採、散策路の清掃』と『里山体験、焼き芋試食』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)四日市西小学校の児童ほか 100人 (参加費)無料	12月9日(金)
	⑨	森・里	NPO法人 うにの郷クラブ	明和町	「第1回 新しい竹文化創造フェスティバル」 地域の歴史古道と里山散策路の活用を図るため、『竹林の整備、竹チップづくり』と『地元食材の昼食、竹筒細工・植木鉢の作成』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)地元の一般参加者、子ども会ほか 50人 (参加費)500円	10月30日(日)
	⑩	森・里	NPO法人 天満浦百人会	尾鷲市	「朝獲れ魚 食べ放題！おわせクリーンBBQ」 『地域資源である天満荘周辺の環境整備』と『尾鷲漁港の採れたての魚の食べ放題』を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)市内外の若者など一般参加者 50人 (参加費)500円	11月23日(水・祝)
Cタイプ ※ソーシャルレジャー の事業	①	川	鳥獣屋(仮称 ホタル川を守る会)	大台町	「ホタル川キャンプ in浦谷川」 別名ホタル川とも呼ばれている浦谷川の景観の保全をめざし、『清掃活動』と『ホタル鑑賞とキャンプ』とを組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。 (参加)一般のキャンプ場利用者ほか 10人 (参加費)500円	7月2日(土)~3日(日)

◎テーマプロジェクト(チャレンジキャンプ、ココロとカラダの健康ツーリズム)の進捗状況について

◆自然の持つ新たな魅力の発見と創造プロジェクト(個別プロジェクト一覧)

三重の自然が持つ、癒し・健康・精神性等の新たな魅力を再発見・発掘し、集客・体験交流や旅行商品開発などの創造につなげていくことをめざして、「チャレンジキャンプ」及び「ココロとカラダの健康ツーリズム」の2つのプロジェクトについて、「新たな集客・体験交流プログラム」又は「新たな集客・体験交流プログラムを組み入れたモニターツアー」を、パートナーグループと共催で実施しました。

※チャレンジキャンプとは

県南部(松阪市以南)を対象に、地域ならではの自然や文化を学びつつ、荒れ田の復元や山林の下草刈りなどの地域のお困りごとを解決するなど、地域の期待にこたえる体験活動を通じて、参加者自身の課題を乗り越える力を高めてもらう新たな集客・体験交流プログラムと合宿・キャンプを組み合わせました。

※ココロとカラダの健康ツーリズムとは

ココロとカラダの健康の維持・増進に資するためのツーリズムで、県内で実施するものです。

種類	団体名 (PG:パートナーグループ)	実施市町	企画概要(「事業名」)	実施日
チャレンジ キャンプ	① 環境再生体験ツアーの会 【代表PG】 たき環境くらぶ“竹遊号” 【関連団体】 多気観光社(PG)	多気町	「学び、体験、満喫!!日本の里山満喫ツアーin多気町」 多気町だけでなく全国的な課題である里山再生について、竹林整備や里山再生の必要性に関するレクチャーを組み入れたプログラムを実施しました。 (参加) 1日目11人、2日目12人 (参加費) 一般6,000円、高校生4,000円	1月21日(土) ~22日(日) (1泊2日)
	② 社会貢献型合宿を広める会 【代表PG】 どんぐりの会 【関連団体等】 志摩市	志摩市	「2011チャレンジキャンプ 社会貢献型合宿『あしたのちから』in志摩」 高齢化が進む志摩市の離島「間崎島」において、空家の庭木の伐採や不法投棄ごみの片づけなど行う社会貢献型合宿を実施しました。 (参加) 関西大学体育会サッカー部153人 四日市南高校サッカー部38人 (参加費) 16,000円	8月11日(木) ~13日(土) (2泊3日)
	③ 地域プロデュース集団 3side 【代表PG】 地域プロデュース集団 3side 【関連団体】 大自然本舗 えむてい 尾鷲三木里グリーンツーリズム推進会議	紀北町 尾鷲市	「東紀州の海山川の「暮らし」をまるごと体験! 親子でチャレンジキャンプ!!」 地場産業である備長炭の炭出し体験、尾鷲市三木里地区の休校での宿泊、三木里ビーチの海岸や休校の清掃活動を親子で行うチャレンジキャンプを実施しました。 (参加) 親子(子ども:中学生以下) 9人 (参加費) 親 8,000円 子 4,000円	8月27日(土) ~28日(日) (1泊2日)
ココロと カラダの 健康ツ ーリズ ム	① 宇賀溪・森のオトモダチ 【代表PG】 シズカナオニワ 【関連団体】 森のオトモダチ ゆうき農園	いなべ市	「宇賀溪 大人のキャンプ」-満天の星空のもと「森と対話」する- 素晴らしい宇賀溪の自然のなかで、森の案内人によるワークショップやキャンプ体験を通じて「森との対話」を深めることで、参加者のココロを癒すキャンプを実施しました。 (参加) 大人 9人 (参加費) 7,500円(バンガロー1名利用の場合は9,500円)	10月1日(土) ~2日(日) (1泊2日)
	② 多気ココロとカラダネットワーク 【代表PG】 多気観光社 【関連団体】 元丈の里 営農組合(PG) 榊川原製茶、榊万協製菓、奥伊勢ツーリスト	多気町	「多気ココロとカラダの健康ウォーキング」 元丈の里で薬膳料理や薬草の足場を体験するなど、多気の地域資源を巡り、体感する健康ウォーキングで、参加者のココロとカラダを癒しました。 (参加) 大人 25人 (参加費) 5,000円	11月27日(日) (日帰り)
	③ NPO法人 天満浦百人会 【代表PG】 NPO法人 天満浦百人会 【関連団体】 NPO法人海虹路(PG)・熊野古道語り部友の会(PG)・ おわせふるさとガイドの会(PG)・ 尾鷲観光物産協会	尾鷲市	「熊野古道と尾鷲のよいとこ体験ウォーキング」 尾鷲地域の資源である熊野古道でのウォーキング・海洋深層水のお風呂・尾鷲ならではの食などにより、参加者のココロとカラダを癒しました。 (参加) 大人 17人 幼児1人 (参加費) 9,800円	12月10日(土) ~11日(日) (1泊2日)

物語おこしプロジェクト テーマプロジェクトミーティング及びイベント開催日程

平成24年2月29日現在

事業名	日時	場所	主な内容	参加者数
津を極めるシリーズ 巻のー「阿漕」を極める	平成24年1月22日(日) 13:50～16:30	三重県教育文化会館 多目的ホール	「津を極める」オープニング 伝説から三重(みえ)てくる津の歴史 ・第一部 講演「三重県に残る伝説・昔話」 (紀北教育研究所所長 小倉肇先生) ・第二部 平治伝説の舞台「阿漕浦」関わりトーク	137人
	平成24年3月10日(土) 13:00～17:00 (乗船体験予備日17日(土))	(集合場所) 津ヨットハーバー	・「阿漕の平治」の大型紙芝居上演 ・阿漕浦での乗船体験 ・津藩武術泳法「涸水術観海流」の説明 ・阿漕塚、寒松院、上宮寺、津観音の観光ガイド	-
「安濃津戦国武将隊」 パフォーマンス事業	平成24年1月15(日)、22 (日)、28(土)、2月4(土)、 11(土)、18(土)、25(土) 13:00～16:00	津センターパレス内会場 ※変更の場合あり	安濃津戦国武将隊イベントパフォーマンスに向けた企画、 練習	各回20～ 30人
	平成24年3月3日(土) ①11:00～11:30 ②13:30～14:00	だいたて商店街	安濃津戦国武将隊イベントパフォーマンス	-
「丹敷戸畔の謎」 説明プロジェクト	平成23年12月17日(土) 14:00～16:15	紀勢老人福祉センター	テーマ「しよっかええ!!こしき!!」 ・聞き取り調査中間発表紙芝居 ・講演(皇學館大学 岡田登教授) ・ワークショップ(各テーブルで聞き取り)	50人
	平成24年1月29日(日) 13:00～16:30		テーマ「錦あいさばなし」 ・講演(三重県史資料調査員 湊 章治先生) ・聞き取り調査中間発表(ワークショップ)	70人
	平成24年2月26日(日) 13:00～16:00		テーマ「むかっしやなー にしきやなー!!」 ・講演(小倉 肇先生) ・聞き取り調査中間発表(ワークショップ)	50人
	平成24年3月18日(日)		・錦の紙芝居発表会! ・講師:岡田先生、湊先生、小倉先生 ・聞き取りさせていただいた皆さん、錦の子ども達を招待	-
身近な歴史の道 「八風街道」物語制作事業	平成23年11月27日(日) 13:00～15:00	なやプラザ	「この地域の古社と御利益(ごりやく)」 ～来年の初詣はここ!～ プロデューサーからの発信・今後の進め方について	4人
	平成23年12月11日(日) 13:00～15:00	なやプラザ	「八風街道沿いにある和菓子屋さん」 ～食べ比べもあり???～ 四日市大学学生さんの取材と発表	25人
	平成23年12月23日(祝) 13:00～15:00	なやプラザ	美里けんじさんの「物語づくり」講座 ～昔の思い出話や言い伝えを残しませんか 美里さんがやさしく文章のコツをお教えします～	20人
	平成24年1月9日(祝) 13:00～15:00	富田地区市民センター	「地域の発展・昭和の富田」 ～富田地区商店街の歴史 平岡回生堂薬局 会長 平岡 久尚さん～	25人
	平成24年1月22日(日) 13:00～15:00	富田地区市民センター	「大矢知素麺の秘密と魅力」 ～ゲストスピーチ:三重の糸大矢知手延素麺協同組合 代表理事 渡邊 文夫さん～	30人
	平成24年1月29日(日) 13:00～15:00	なやプラザ	「郷土の遺跡・マップを作ろう」 ～ゲストスピーチ:四日市市教育委員会 社会教育課 文化財係 学委員 葛山 拓也さん～	15人
	平成24年2月5日(日) 13:00～15:00	なやプラザ	「北勢地域の戦国時代～八風街道によせて」講座 ～ゲストスピーチ:四日市大学環境情報学部 学部長 播磨 良紀さん～	30人
	平成24年2月19日(日) 13:00～15:00	なやプラザ	「八風歳時季」俳句・川柳・和歌募集 発表会	4人
	平成24年2月26日(日) 13:00～15:00	富田地区市民センター	「悠久の歴史ロマン」 ～ゲストスピーチ:富田地区文化財保存会 会長 荒木 光男さん～	29人
	平成24年3月4日(日) 13:00～15:00	大矢知地区 市民センター	「羽津用水」 ～ゲストスピーチ:大矢知歴史研究会 代表 古市 徹郎さん～	-
	平成24年3月11日(日) 13:00～15:00	田光公会堂	「田光と切畑の歴史～八風街道によせて」 ～ゲストスピーチ:大橋徳紀さん・諸岡福造さん～	-
宮川・一之瀬川流域 「物語おこし」プロジェクト	平成23年12月16日(金) 13:30～16:00	度会町役場2階 大会議室	・度会町長あいさつ ・講義「倭姫命について」(皇學館大学 岡田登教授) ・地域資源調査報告・講評	25人
	平成24年1月27日(金) 13:30～16:00	度会町役場2階 大会議室	・講義「度会町の巨石・石文化について」 (皇學館大学 岡田登教授) ・地域資源調査報告・講評	20人
	平成24年2月20日(月) 13:30～16:00	度会町役場2階 大会議室	・講義「度会町の水運について」 (皇學館大学 岡田登教授) ・地域資源調査報告・講評	22人
	平成24年3月17日(土) 9:00～15:30	度会町内	「倭姫命の巡行地とその周辺の散策ツアー」の実施 度会町内の倭姫命が立ち寄ったとされる場所を巡るツ アーを実施し、地域の食材を使った昼食を作り、来訪者と 地域の交流を図る。	-

「^{うま}美し国おこし・三重」評価委員会(平成 24 年2月 27 日)主な意見概要

1 平成 23 年度「^{うま}美し国おこし・三重」の検証、評価について

- ・ 平成 21 年度の本格的な取組の開始以降、約 3 年が経過し、地域によって地域づくりの担い手の掘り起こしや支援などの状況が異なることが、より明らかになってきたと考えられる。
- ・ 本取組で支援するパートナーグループの登録が、毎年度減少してきているのは、現在の手法における地域づくりの担い手の掘り起こしが限界に近づいていると考えられ、今後は、掘り起こした担い手の支援に重きを置き、成果の創出をめざすべきで、県民力拡大プロジェクトに向けた取組内容に軌道修正していくべきだと考える。
- ・ パートナーグループ等の県内の地域づくりの担い手に、本取組の業務委託等を行い、企画や調整などのノウハウ・スキル等の発揮、また更なる習得を促進していくなど、掘り起こしから次のステップへ進む必要がある。
ただし、地域によっては、一層の掘り起こしが必要だと考えられるところもあるので、地域の実情に鑑みた、適切な取組対象の設定を行う必要がある。
- ・ 昨年度の報告書に記載した「取組全般にわたるノウハウ・専門知識等の地域への移管」については、市民活動センター等の中間支援組織との連携の検討や県内の専門家の活用が進められ、評価できる内容となっている。
- ・ 情報発信については、その必要性は十分認められるが、県民の皆さんに広く周知するよりも、地域づくりの現場により近い皆さんに対して行う方が効果的だと考えられ、SNS の活用など方法の見直しも必要だと考える。

2. 「^{うま}美し国おこし・三重」平成 23 年度プロデュース業務及び平成 23 年度「^{うま}美し国おこし・三重」地域担当プロデューサー業務の検証、評価について

- ・ 昨年度同様、座談会の開催やパートナーグループに対して課題の解決、目標の実現に向けた道筋を示すなど、1 年間に実施した業務量は十分に評価できる。
- ・ また、サポートメニューの活用により、パートナーグループの課題解決を図った例があるなど、プロデュース業務に一定の成果が表れつつあることも評価できる。

- ・ パートナーグループに対するアンケート結果からも、「プロデューサーのサポート」について、「満足」、「概ね満足」の回答率が79.2%（有効回答数/全パートナーグループ数：135/328）と、概ね高い評価を受け、今後に対しても高い期待を持たれている。
- ・ しかし、専門家派遣や財政的支援といった支援メニューの活用が低調であり、このようなパートナーグループへの支援は地域づくりの現場により近い所で行われることが望ましいことから、県内の市民活動センター等中間支援組織へのプロデュース業務の移管を進めていくべきである。
- ・ 平成24年度の契約更新については、県内一律のこれまでの掘り起こし重視ではなく、それぞれの地域の実情に沿って、掘り起こしや掘り起こした担い手の支援を行い、成果につなげていくことが必要である。併せて、平成26年度に実施する県民力拡大プロジェクトが単なるお祭りにならないよう、十分な企画・準備を行い、所期の目的を達成することを条件にした上で、可とするものとする。

平成 24 年度実施計画（案）概要

1 地域での美し国おこし

「美し国おこし・三重」の取組の基本である、地域の皆さんによる地域をよりよくしていこうとするグループの発掘や活動の支援を、市町をはじめとするさまざまな主体と連携し、引き続き次のように行います。

(1) 座談会の開催

座談会は、地域づくりに関心のある皆さんや、既に地域づくりに取り組まれている皆さんなど、地域をよりよくしていこうという思いをもつ住民の皆さんが集まる場です。330回を目標に開催し、地域の課題やビジョンについて話し合い、その解決策や方向性等を考えていきます。

(2) パートナーグループ登録

「美し国おこし・三重」の取組の趣旨に沿って、住民の皆さんが主体となり自発的に地域をよりよくしていこうとする活動を行うグループにパートナーグループとして登録していただきます。

平成 24 (2012) 年度は、一部登録手続きの簡素化を図るなど、さらに積極的にパートナーグループの登録を進めていきます。

(3) パートナーグループへの支援

人材育成研修、専門家派遣、広報・誘客支援、ネットワーク化支援、財政的支援等を行います。（「3担い手の育成と支援」の項目で説明）

2 テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし

県内各地域のパートナーグループの活動について共通する分野の活動ごとに連携する「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」を、平成 26 (2014) 年の県民力拡大プロジェクトに向けて、イベント手法を活用し、情報発信力を高めて、全県的・広域的に展開します。

(1) 「地域の誇り・地域の夢」

人と地域の“絆”づくりを理念に、平成 23 (2011) 年度に引き続き、次のプロジェクトに取り組みます。

○ 物語おこしプロジェクト

地域にまつわる歴史や逸話・謂われ等の「物語」の掘りおこしや、さらに掘りおこした「物語」を活用したさまざまな活動を支援、実施していきます。

(2) 「つむぐ想い・つながる心」

人と人の“絆”づくりを理念に、平成 24 (2012) 年度から新たに次のプロジェクトに取り組みます。

① 人と人の“絆”づくり実践プロジェクト

県民の皆さんの参加・参画による、「人と人の“絆”づくり」を「知る」、「学ぶ」、「考える」、「楽しむ」の視点から実践するイベントを開催します。

② 人と人の“絆”の場づくりプロジェクト

人と人の“絆”づくりをめざした「場づくり」を目的としたさまざまな取組を支援、実施していきます。

3 節目に行う効果的な情報発信の取組

改定された基本計画に基づく新たな取組内容を県民の皆さんに周知し、関心・期待感を喚起するとともに平成 26 (2014) 年に開催する県民力拡大プロジェクトに向けた取組を開始します。

4 担い手の育成と支援

(1) 人材（地域づくりのリーダー）育成

地域づくりの担い手となる人材の育成を目的として次の研修を行います。

○ マネジメント研修

組織を安定的に運営し活動を継続させるため、いかに資金を確保するかなど、地域づくりグループの活動を継続させるための研修を県内の3会場で実施します。

(2) 専門家派遣

パートナーグループの活動を活性化し、課題の解決を支援するために、それぞれの案件にふさわしい専門家を派遣します。その際には、県内の専門家を優先して派遣します。

(3) 広報・誘客支援

個々のパートナーグループの活動紹介や活動への参加・協力募集の告知等を行い、広報・誘客活動を支援します。

(4) ネットワーク化支援

パートナーグループの成果発表や交流の場を設け、他のパートナーグループとの交流・連携の輪を広げるとともに、パートナーグループとサポーターとの協力、連携を進めることで、活動の活性化につなげていきます。

① 拡大座談会

「地域での美し国おこし」の一層の推進のため、地域や活動分野を越えた連携・交流のきっかけづくりや「美し国おこし・三重」の取組をアピールするための拡大座談会を開催します。

② 「美し国おこし・三重」サミット（仮称）

パートナーグループの皆さんの活動内容や成果をお互いに発表し合い、次年度以降に向けた抱負を語り合います。また、県民力拡大プロジェクトに向けて、パートナーグループの皆さんはもちろん県内外の皆さんが注目し、気運の醸成を図るための場づくりを行います。

(5) 財政的支援

パートナーグループの活動の持続性を高め、地域に貢献しながら安定した活動が行えるよう、グループの自立・持続性を高める活動として認定されたプロジェクトに係る初期投資に対して支援します。

また、市町を含む地域のさまざまな主体が参画する実行委員会などによる新たな取組もしくは既存の取組でバージョンアップする部分に対して支援します。

5 情報発信

- ① シンボルマークやマスコットキャラクターをより一層活用するとともにサブタイトルやタグラインを使用するなど、情報発信力を高め、取組全体の認知・理解の促進を図ります。
- ② 「地域での美し国おこし」や個々のパートナーグループの活動の認知促進について、個々のパートナーグループに焦点をあてた情報発信をさまざまな媒体を通じて行います。
- ③ 「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の取組の積極的な情報発信を行います。
- ④ マスコミ媒体各社をはじめ、メディアに対して情報発信していきます。また、ネット社会に対応した情報発信も進めます。
- ⑤ パートナーグループが自ら積極的に情報を発信する機運を高めるとともに、地域の皆さんが地域のことを情報発信しようとする取組との連携を図ります。

【媒体例】

- ア 定期広報物の発行
- イ 「県政だより」への定期的な取組状況等の掲載
- ウ 県提供「テレビ・ラジオ」による取組状況等のお知らせ
- エ 地域雑誌への取組の掲載
- オ ホームページ、メールマガジンの発行

カ 啓発グッズの配付 など

【県内イベントとの連携】

県、市町をはじめとする各種イベントへのブース出展やマスコットキャラクターの着ぐるみ参加等により、本取組のPRを行うとともに、可能な場合は展示エリアへのパートナーグループの出展を斡旋し、グループの活動の成果を県民の皆さんに披露する場を提供します。

6 目標と検証・評価

自立・持続可能で元気な地域づくりに生かしていくために、取組全体の仕組みや成果について検証・評価を行うとともに、全体指標及び個別の取組指標とそれぞれに対する目標を設定します。

7 協賛・協力

「美し国おこし・三重」は、さまざまな主体で推進していく取組であることから、住民の皆さんや団体・企業などの協賛や協力を呼びかけながら進めていきます。

【全体指標と目標の設定】

- ① 集客・交流者数
 県民力拡大プロジェクト参加者数
 平成 24 (2012) 年目標 (準備期間)
 (平成 26 (2014) 年目標 延べ 20 万人)
- ② ネットワーク構築数
 パートナーグループアンケートによる「パートナーグループが地域内外のさまざまなパートナーグループや団体との間に構築したネットワーク数」
 平成 24 (2012) 年目標 600 グループ
 (平成 26 (2014) 年目標 3,000 グループ (累計))
- ③ 地域への愛着度
 三重県が実施する「e-モニター」による「地域への愛着度」
 平成 24 (2012) 年目標 82%
 (平成 26 (2014) 年目標 90%)

【個別の取組指標と目標の設定】

取組の3つの柱ごとの指標と目標の設定

- ① 自発的な地域づくりのグループへの支援
 a パートナーグループとして登録されたグループ数
 平成 24 (2012) 年目標 200 グループ
 平成 26 (2014) 年目標 1,000 グループ (累計)
- b この取組に参画するパートナーグループの自己評価による活動充実・満足度
 平成 24 (2012) 年目標 70%以上
 平成 26 (2014) 年目標 70%以上
- ② 自立性・持続性を高める仕組みづくり
 パートナーグループや市民活動を支援する中間支援組織など地域づくりの取組の自立性・持続性を高める仕組みの構築数
 平成 24 (2012) 年目標 5 件
 平成 26 (2014) 年目標 30 件 (累計)
- ③ 新たなイベントスタイルによる県民力の結集と成果の情報発信
 a 県民力拡大プロジェクト参加者数 (再掲)
 平成 24 (2012) 年目標 (準備期間)
 平成 26 (2014) 年目標 延べ 20 万人
- b 三重県が実施する「e-モニター」による「地域の活動などに参画して

いる住民の割合」

基準年 : 平成 23 (2011) 年 33.6%

平成 24 (2012) 年目標 35%

平成 26 (2014) 年目標 38%

④ その他の個別の取組指標と目標の設定

座談会等開催数

平成 24 (2012) 年目標 330 回

※ 座談会等：座談会（パートナーグループ新規登録のためのものを含む）、拡大座談会、意見交換会・説明会

県民力拡大プロジェクトの基本的な考え方

平成 26 (2014) 年に予定している県民力拡大プロジェクトにつきましては、実施計画の策定を進めているところですが、その基本的な考え方は、次のとおりです。

取組の最終年である平成26 (2014) 年には、「美し国おこし・三重」の6年間の成果を県内外にアピールし、地域をよりよくしていこうとする三重の県民力を新たな時代に向かって拡大する県民力拡大プロジェクトを実施します。

1 コンセプト

- (1) 地域の住民の皆さん自らが、地域づくりグループ、企業・団体、行政などと連携し、「県民力」により地域のさまざまな課題の解決や新たな魅力の発信を行うなど、地域をよりよくしていこうとする活動を広くアピールしていきます。
- (2) 県民力を高めるために、「体験や学び、交流や仲間づくり、飲食やショッピングなど、多彩で魅力的な集客・交流プログラム」や「普通に楽しんでもらう、旅行してもらおう、遊んでもらうことが地域貢献や社会貢献につながる集客・交流プログラム」などを全県で展開し、県内外からの参加・参画を積極的に呼びかけます。
- (3) 取組終了後も自立・持続可能で元気な地域づくりが三重県全域で展開され、めざすべき三重の姿となるよう、本プロジェクトを通じて高めた県民力を新たな時代に向かって拡大していきます。

2 県民力拡大プロジェクトの構成

県民力拡大プロジェクトでは、平成 26 (2014) 年に向けて、パートナーグループとの連携をさらに図るとともに、県民の皆さんや県内企業、団体、生産者などとの連携を強化することで、次のような3つの構成からなる多様性を有し魅力的な集客・交流事業を全県的に展開します。

(1) パートナーグループ連動型集客・交流プログラムの全県展開

事業名	「こころめぐる三重2014 (仮称)」	(現在案：『縁博 ^{えんぱく} みえ2014』)
期 間	平成26 (2014) 年春から半年程度	
場 所	県内各地域	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ パートナーグループの活動場所における成果の披露を基本とし、半年間程度、県内各地域で集客・交流イベントを実施します。 ・ 地域における絆づくりや特色ある地域資源の磨き上げといった 	

「美し国おこし・三重」の取組の成果を生かし、パートナーグループだけではなく、地域づくりグループや事業者・企業・団体などさまざまな主体が企画・実施するプログラムによる集客・交流イベントを展開します。

- ・ 県民や県外の観光客が気軽に参加できるように、エコツーリズム、タウンツーリズム、グリーン・ツーリズムなどのさまざまなタイプの集客・交流プログラムづくりを支援します。
- ・ パートナーグループをはじめとする地域の皆さんが、地域のさまざまな課題の解決や新たな魅力の発信に取り組む、体験や学び、交流や仲間づくり、飲食やショッピングなどのプログラムづくりを支援します。
- ・ プログラムを魅力的に紹介し、集客するための広報を行います。

(2) パートナーグループ・県民参加型地域づくりカンファレンス

事業名 「三重県アクティブシチズンふれあいの会（仮称）」
(現在案：『三重県民大縁会』^{だいえんかい})

期 間 平成26（2014）年秋の数日間

場 所 三重県営サンアリーナ（伊勢市）

- 内 容
- ・ 「美し国おこし・三重」の取組の締めくくりとして実施します。
 - ・ 全パートナーグループが一堂に会し、6年間培ってきた成果を発表し、その後の活動の継続についての展望を語り合う場を設けます。
 - ・ 県内外からの集客を図るため、集客を見込める分野に注力した出展やさまざまな分野における成果のカンファレンスなどを企画します。

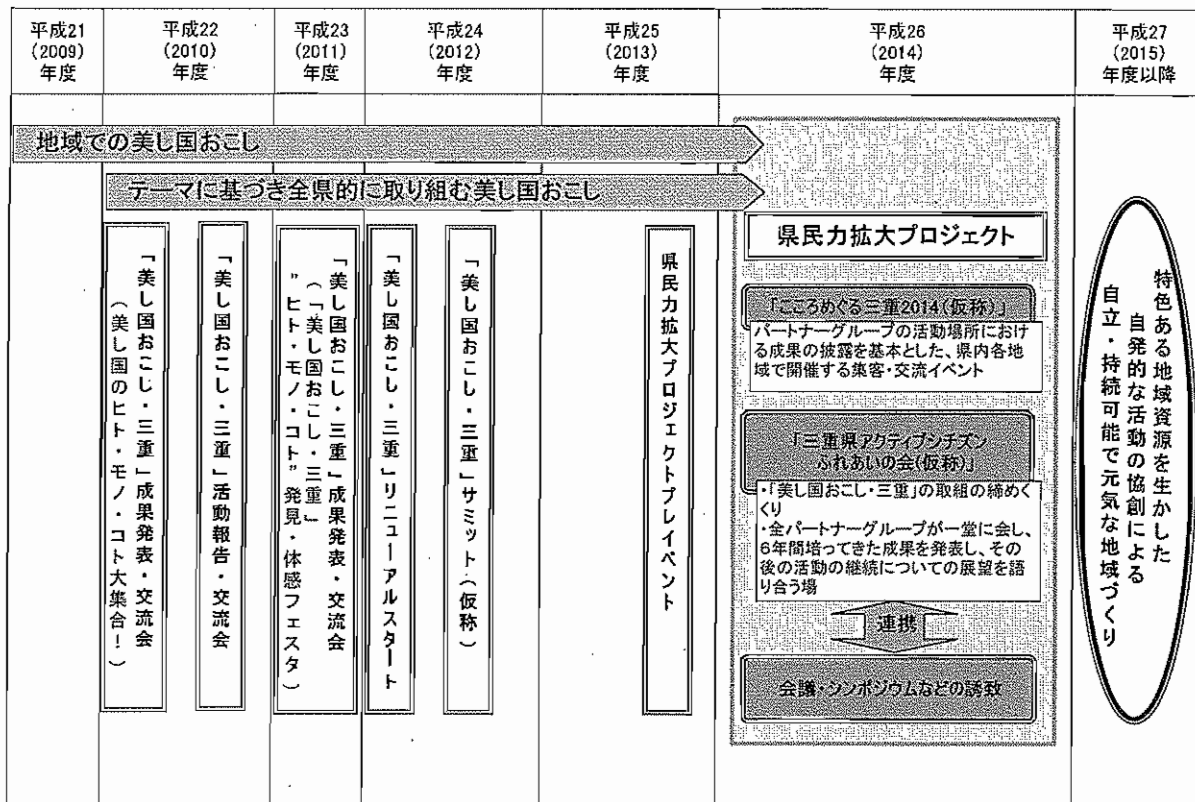
(3) 地域づくり会議・シンポジウム等の誘致・実施

期 間 平成26（2014）年秋

場 所 県内各地域

- 内 容
- ・ 地域づくりに関する全国大会などを誘致し、「美し国おこし・三重」の取組の成果などを生かした地域づくり活動の披露の場づくりを実施します。
 - ・ 取組終了後の活動の継続や発展につなげるため、パートナーグループをはじめとする地域づくり関係者の皆さんの交流が深められるよう、他のイベントとの連携を図りながら実施します。

【県民力拡大プロジェクトのスケジュール・構成図】



2 「こころめぐる三重 2014 (仮称)」(現在案:『縁博みえ 2014』)について

(1) 概要

「こころめぐる三重 2014 (仮称)」(現在案:『縁博みえ 2014』)は、パートナーグループの活動場所における成果の披露を基本とし、平成 22 年度から 5 年間にわたり推進する「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」で培われてきた、パートナーグループが企画・実施する多様なプログラムをはじめ、地域づくりグループや事業者・企業・団体などさまざまな主体が企画・実施するプログラムによる多彩で魅力的な集客・交流イベントを展開します。

(2) 企画のポイント

集客・交流プログラムを企画するにあたり重要なポイントは、県民の皆さんに興味・関心を持っていただき、参加・参画したくなる魅力的なプログラムにすることです。

「美し国おこし・三重」集大成イベント実施計画策定調査の調査結果から、県民の皆さんが興味・関心を持つ活動分野は「食」、「観光振興」、「祭り・イベント」が上位となっていることから、「こころめぐる三重 2014 (仮称)」(現在案:『縁博みえ 2014』)を成功させるために、「楽しく」、「ためになる」、「面白い」活動をベースとした多彩で魅力的な集客・交流プログラムにしていきます。

(3) 内容

取組最終年となる平成 26 (2014) 年の春から半年間程度の期間に、県内各地域で多彩で魅力的な集客・交流プログラムを展開します。

期間：平成 26 (2014) 年 4 月～11 月 (予定) ※半年間程度

場所：県内各地域

(4) 誘客の仕組み・体制

- ① エージェント等とのきめ細やかなコミュニケーション・連携を検討します。
- ② 実行委員会参与への情報提供を密にし、旅行商品化を検討します。合わせて、運輸部門の実行委員会委員にも同様に働きかけを行います。
- ③ 広報面では、マスメディア及び印刷媒体(ガイドブックの制作等)を中心に PR を展開するとともに、SNS (フェースブック、ツイッター等) を活用した情報発信やキャラバン隊の結成などを検討し、県内外から注目される広報・宣伝を実施します。
- ④ 企業・団体などが実施する CSR などとの連携や、パートナーグループのネットワークの活用など多面的な誘客を図ります。

(5) プログラム実施主体

「こころめぐる三重 2014 (仮称)」(現在案：『^{えんぱく}縁博みえ 2014』) の実施主体は、次の場合が考えられます。

- ① パートナーグループが主催し、実施主体となる場合
- ② 「美し国おこし・三重」実行委員会が、パートナーグループなどへ委託する場合
- ③ 「美し国おこし・三重」実行委員会が主催し、実施主体となる場合
- ④ 企業・団体などが主催する場合

(6) 集客・交流プログラムのイメージ (例)

① ソーシャルレジャー

○ 概要

- ・ ソーシャルレジャーとは、社会貢献活動(ボランティア活動)に、誰もが楽しめるレジャー活動を組み合わせたボランティアの新しい考え方です。例えば、環境整備や清掃活動などの「社会貢献活動」と、地元料理やウォーキングなど「お楽しみ・体験等のレジャー」の組み合わせが“ソーシャルレジャー”です。
- ・ 社会貢献活動にレジャーの要素を加え、情報発信力を高めることで、活動の周知・参加者の増加につなげ、パートナーグループの活動の自立性・持続性を高めるとともに、県民の皆さんが地域資源の再発見や地域課題の

解決などに関心をもち、自ら行動するきっかけとして、気軽に地域づくり活動に参加できる集客・交流プログラムです。

時期：平成26（2014）年4～11月

場所：県内各地域

② 歴史散歩／物語ツーリズム

○ 概要

- ・ 「歴史散歩／物語ツーリズム」とは、三重県内の各地の歴史や物語・言い伝え、由緒ある街道等の歴史的資産等、地域の有形無形の「宝」を再発見し、その物語に関わる名所・旧跡をつなぎ合わせる集客・交流プログラムです。
- ・ ツアーについては、子どもたちが地元の歴史・文化等に関心をもち、地域への愛着や誇りをもっていただけることをめざすとともに、街道各所の歴史・言い伝えを学びながら周回し、地域の物語などに関連する「郷土料理」などの提供やスタンプラリー、オリエンテーリング等により、参加者に「楽しみ」を感じていただく仕掛けも付加するなど、関連するテーマを設定することで、異なる街道ツアーへの参加意欲を高めるストーリーやルート開発をめざします。

時期：平成26（2014）年4～11月

場所：県内各地域

③ つながって meal 三重（仮称）

○ 概要

よいものをつくろうとしている農家・漁師の皆さんが作られた作物や魚介類を使った料理をランチで頂いた後に、その場でワールドカフェを開催します。また、農家、漁師の皆さんと直接対話することを通じて、〈土・海〉と〈お皿〉のつながりを実際に感じ、参加した皆さん一人ひとりが、豊かな地域の食文化の担い手となるとともに、地域の「農」「漁」、また食の安全安心などの地域資源や地域の課題に気づく契機となることをめざした集客・交流プログラムです。

（一部） 三重のさまざまな農家・漁師の皆さんの紹介

（二部） 農家・漁師の皆さんがつくられた作物や魚介類を使ったランチの試食

（三部） 農家・漁師の皆さんと県民の皆さんによるワールドカフェ

時期：平成26（2014）年4～11月

場所：県内各地域（飲食店貸切り、もしくは、県内公共施設を利用）

3 「三重県アクティブシチズンふれあいの会（仮称）」（現在案：『三重県民大縁会』^{だいえんかい}）
について

（1）概要

- ① 6年間にわたる取組の締めくくりとして実施します。
- ② 全パートナーグループが一堂に会し、6年間培ってきた成果を発表し、その後の活動の継続についての展望を語り合う場を設けます。
- ③ 県内外からの集客を図るため、集客を見込める分野に注力した出展やさまざまな分野における成果のカンファレンスなどを企画します。

（2）企画のポイント

- ① 県内外からの集客を図るため、「食」、「観光」、「イベント・祭」といった分野の「楽しく」、「ためになる」、「面白い」活動であることを発信できるものにします。
- ② 「こころめぐる三重 2014（仮称）」（現在案：『縁博みえ 2014』^{えんぱく}）で、各地域において行われたプログラムの全県版を実施することで、取組の成果としての位置づけをより強くアピールするとともに、情報発信力をより高めていきます。

（3）誘客の仕組み・体制

- ① エージェント等とのきめ細やかなコミュニケーション・連携を検討します。
- ② 運輸部門の実行委員会委員にも働きかけを行います。
- ③ 広報面では、マスメディア及び印刷媒体（ガイドブックの制作等）を中心にPRを展開するとともに、SNS（フェースブック、ツイッター等）を活用した情報発信やキャラバン隊の結成などを検討し、県内外から注目される広報・宣伝を実施します。
- ④ 企業・団体などが実施するCSRなどとの連携や、パートナーグループのネットワークの活用など多面的な誘客を図ります

（4）内容

- ① 実施時期：平成 26（2014）年秋の数日間
- ② 実施場所：三重県営サンアリーナ（伊勢市）
- ③ 実施概要：全パートナーグループが一堂に会し、6年間培ってきた成果を発表します。今後の活動につながる交流の場を設けるとともに、県民の皆さんとパートナーグループとの接点となるコンテンツを展開します。
- ④ 構成案：
【ステージイベント】

- ・ 「美し国おこし・三重」実行委員会会長（知事）による開会宣言
- ・ 著名人（三重の文化人や地域おこしの第一人者）による基調講演
- ・ 集客ステージ
三重ゆかりのアーティストや三重のご当地キャラクターによるパフォーマンス

【カンファレンス】

- ・ パートナーグループ成果発表
さまざまな分野におけるパートナーグループの成果発表
- ・ 拡大座談会
各分野ごとのパートナーグループ同士の今後の活動に向けた交流・連携の場

【テーマプロジェクト出展】

- ・ 各地域で実施されている誘客系のテーマプロジェクトを、その場で体験できるコンテンツにしてブースを展開
- ・ 各地域で実施されている販売系のテーマプロジェクトについて、物販ブースや飲食ブースを展開
- ・ 各地域で実施されている運動系のテーマプロジェクトを、その場で参加できるコンテンツにしてブースを展開

4 「地域づくり団体全国研修交流大会」の誘致について

(1) 概要

- ① 地域づくり団体関係者や地域づくりに興味のある方、行政関係者を対象に、自主的・主体的な地域づくりの推進に資するための全国レベルの研修及び相互の情報交換等の場として、平成6（1994）年以降毎年開催され、平成24（2012）年に第30回大会を迎えます。
- ② 地域の皆さんと全国からの参加者全員の交流の場である「全体会」と、各地域の地域づくりの現場を披露し、研修・情報交換の場とする「分科会」で構成されます。

(2) 企画のポイント

- ① 地域の皆さんの自発的・主体的な企画を基本とし、市町とともに支援します。
- ② 分科会の設置にあたっては、パートナーグループの活動のみならず、地域のさまざまな主体の参画を促進します。
- ③ 全体会は、「三重県アクティブシチズンふれあいの会（仮称）」（現在案：『三重県民大縁会』）と連携した内容を企画します。

(3) 誘客の仕組み・体制

- ① 共催の地域づくり団体全国協議会が、各加盟団体へ開催案内を通知します。

- ② 周辺地域で開催される地域づくり団体が、集まる会合などでPRします。
- ③ 県民力拡大プロジェクトの一環として、情報発信していきます。

(4) 内容

- ① 地域づくりの現場における研修・情報交換の場である 10 から 15 程度を設置目標とする「分科会」を設け、各分科会の自主企画を実施します。
- ② 地域の皆さんと全国からの参加者全員の交流の場である「全体会」（主催者あいさつ、オリエンテーション、アトラクションなど）を設けます。

5 県民力拡大プロジェクトイベントについて

(1) 目的（必要性）

- ① 平成 26（2014）年の県民力拡大プロジェクトに向けて、平成 25（2013）年に、パートナーグループの活動成果の中間発表の場としてイベントを開催することで、パートナーグループの成功体験づくりと検証・改善による活動の更なる磨き上げが期待できます。

そのことにより、県民力拡大プロジェクトへのモチベーションの向上や参画促進の効果につなげることができます。

- ② 神宮式年遷宮により三重県への注目度が高まることから、県民力拡大プロジェクトの県内外での注目を喚起するとともに、期待感の醸成を促進するため、情報発信力の強化を図ります。

(2) 概要

神宮式年遷宮により県内外から多くの皆さんが訪れる絶好の機会を生かして、伊勢市でパートナーグループの活動成果の中間発表の場を設け、テーマプロジェクトで分類した誘客系・販売系・運動系による体験・物販や、著名人によるトークショーなどを組み込んだステージイベントも検討していきます。

また、誘客系の活動では、当該活動場所への誘客を図る企画も検討します。

